



4号

NPO 法人よこすかシティガイド協会

黒船

発行：NPO法人よこすかシティガイド協会
 発行日：令和3年3月31日
 責任者：理事長 鈴木孝雄
 編集：会報編集チーム リーダー 玉井幸雄



URL : <http://yokosuka.kankoh-guide.com/>

コロナを乗り越えて

新型コロナウイルスに振り回された一年間でしたが、これからの横須賀の観光振興にかかわる明るいニュースもありました。

一つ目は、市がヴェルニー公園に建設中の「よこすか近代遺産ミュージアムティポディエ邸」が5月に開設することです。市全体を一つの博物館ととらえ、点在する歴史・文化遺産を自由に巡る「ルートミュージアム構想」。その周遊に役立つ情報を紹介する中核拠点が出来上がり「構想」がいよいよ本格的に始動します。二つ目は、レンガ造りのドライドックを含む浦賀の造船所敷地の一部が住友重機械工業から市に寄贈されたことです。三年前に寄贈された浦賀奉行所跡地と合わせて、江戸と明治の浦賀繁栄の元である歴史遺産となり、今後の展開が楽しみです。三つ目は、来年のNHK大河ドラマが、北条義時を描く「鎌倉殿の十三人」に決まったことです。三浦義村、和田義盛など横須賀ゆかりの三浦一族も登場します。これを機会に、横須

賀も大河ドラマゆかりの地として賑うことが期待されています。

このように、横須賀の観光には明るい未来が見えています。当協会もお役に立てる分野には積極的に参加してまいります。今年こそは、コロナを乗り越えて未来へ前進しましょう。

(副理事長 篠原 均)



建設中のティポディエ邸

寄贈されたレンガドック

嘉永六年（一八五三）のペリー

来航で幕府は大船建造の禁を解き浦賀に造船所を設置して我が国初の洋式軍艦「鳳凰丸」を建造しました。その後、艦艇建造の中心は横須賀に移り、浦賀造船所は明治九年には閉鎖されましたが、明治三十年になって中島三郎助の意志を継ぎ、榎本武揚らを中心に浦賀船渠

(株)が設立され、同三十二年にはレンガドックが完成しました。以

(副理事長 玉井 幸雄)

後、浦賀船渠は、わが国の近代的な造船所の先駆けとして多くの艦船を建造してきました。時代とともに浦賀重工業、住友重機械工業と名称を変えても「浦賀ドック」の愛称で親しまれ続けてきましたが、ついに平成一五年には閉鎖されました。そして、そのレンガドックが住重のご厚意で、この三月、横須賀市に無償で寄贈されることとなりました。レンガドックは世界中でオランダに三基と我国に二基（浦賀と川間）しかありません。川間は海水が満ちヨットハーバーとなっているので、原型のままの浦賀レンガドックは、近代産業歴史遺産として、日本のみならず世界の宝といっても過言ではありません。今後、このドックをどのように保存し後世に伝えていくかが私たちの使命だと思えます。



寄贈されたレンガドック

田戸台分庁舎を巡るツアーの紹介

横須賀を代表するイベント

通常は入場できない海上自衛隊田戸台分庁舎（旧横須賀鎮守府司令長官官舎）を見学する「田戸台分庁舎と旧陸海軍施設を巡るツアー」は、「日米親善ベース歴史ツアー」に次ぐ横須賀市を代表するイベントで、年4回実施されています（田戸台分庁舎の一般公開はさらに年2回）。横須賀は、『下町の海軍』、『上町の陸軍』と言われてきましたが、数少ない旧陸軍施設である横須賀重砲兵聯隊跡や、陸軍病院跡などを巡るツアーで、主催は横須賀市観光協会、ガイドは当協会が担当しています。

田戸台分庁舎（旧横須賀鎮守府司令長官官舎）

着工は明治45年4月で、大正2年8月に竣工、設計者は桜井小太郎海軍技師と富田喜久二海軍技師の二人です。官舎は洋館部分と和館部分から成り立つ構造で、洋式建築を得意とする桜井が洋館部分を、富田が和館部分を設計したものと推測されています。桜井は、ロンドン大学建築学科を首席で卒業し、日本人初の英国公認建築士になっており、英国風チューダー風建物を得意としました。官舎は、桜井が耐震性を配慮した設計と妥協を許さない施工をしたため関東大震災にも耐えました。なお、スタンドグラスは、小川三知の作品です。小川は東京美術学校を卒業後、明治33年にアメリカへ渡りオパールセントグラスの技法を習得、日本に持ち帰った画家兼スタンドグラス作家です。この官舎には、大正2年から昭和20年8月まで34代（31人）の長官が住みました。また、昭和21年から昭和39年までは、在日米海軍横須賀基地司令官9人が住みました。現在は、海上自衛隊横須賀地方総監部が管理しています。



田戸台分庁舎（旧横須賀鎮守府司令長官官舎）

横須賀重砲兵聯隊

明治24年、不入斗に新兵舎が完成、要塞砲兵第1聯隊が浦賀から移転してきました。その後、編制替えや名称変更があり、大正9年に横須賀重砲兵聯隊となりました。桜小学校の相撲場の東側には横重会が昭和46年に建立した「記念碑 横須賀重砲兵聯隊跡」があります。碑には「明治37年日露戦争に参戦、28榴を以って旅順203高地攻略に偉勲を樹つ」と刻かれています。また、聯隊当時の重厚な営門、煉瓦塀が残っており、桜小学校と坂本中学校の正門として使用されています。なお、練兵場跡は、不入斗公園として昭和38年に開設され、約40,582坪（東京ドーム約3倍）の面積で、昭和53年と平成9年に陸上競技場、テニスコート、軟式野球場、弓道場、温水プールを持つサブアリーナ等が完成、県下屈指の総合運動公園となっています。



記念碑 横須賀重砲兵聯隊跡

ツアー概要

京急汐入駅～長源寺～ちこく坂～陸軍病院跡～横須賀重砲兵聯隊跡～西来寺～不入斗練兵場跡～軍転法の碑～柏木田跡～田戸台分庁舎～聖徳寺～田戸の赤門～龍崎訓導顕彰碑～おりょう会館～横須賀共済病院～京急横須賀中央駅

（理事長 鈴木孝雄）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の田戸台分庁舎を巡るツアーの実施は未定です（2月末時点）。横須賀市観光協会のホームページでご確認ください。



<https://yokosuka-kanko.com/2021-event-list/>

【賛助会員募集】

よこすかシティガイド協会の活動に理解をお持ちで、当協会を後援していただける個人及び団体の賛助会員を募集しています。
年会費 個人1口3,000円・団体1口5,000円 詳細は電話090-5507-6519（理事長 鈴木孝雄）まで

2021 年度前半のガイドツアー予定

みなさまのご参加をお待ちしています。

当会が企画したガイドツアー

〈マスクの着用をお願いいたします。〉

ツアーNo.	コース名	シリーズ	開催日	曜日	集合 / 解散
1	春の“十三峠～安針塚”を歩く		4/8	木	安針塚駅/逸見駅
2	古道を往く久里浜から大津へ		4/17	土	京急久里浜駅/大津運動公園
3	衣笠城址から東漸寺涅槃図		4/22	木	JR衣笠駅/東漸寺
4	浦賀みちからの中世の古道1		5/9	日	追浜駅/白山道バス停
5	北斎ゆかりの古道を歩く		5/14	金	北久里浜駅/紺屋町バス停
6	ポピー咲きほこる花の国へ		5/15	土	京急久里浜駅/くりはま花の国
7	縦断長者ヶ崎から佐島天神島		5/18	火	JR衣笠駅/東漸寺
8	小網代の森から道寸まつりへ		5/23	日	三崎口駅/荒井浜海岸
9	海軍水道みちを辿る		6/2	水	追浜駅/釜利谷市民菜園 バス停
10	蝶の広場から黄金屏風を巡る		6/4	金	衣笠城址バス停/衣笠山公園バス停
11	早苗の棚田と新善光寺		6/11	金	JR衣笠駅/新善光寺
12	紫陽花と浦賀水道の巨大船		6/14	月	馬堀海岸駅/観音崎バス停
13	Mrペリーと開国のまち巡り		7/10	土	京急線 浦賀駅/ペリー公園
14	防大見学と観音崎散策		9/15	水	馬堀海岸駅/南谷戸バス停
15	新善光寺から名勝森戸海岸へ		9/18	土	滝の坂バス停/森戸海岸
16	貝山地下壕 と第三海堡引揚物	☆	9/26	日	追浜駅/追浜車庫前 バス停

☆印は2回シリーズです

「新しいガイド様式（午前コース・ゲスト30名・1班6名）」で開催します。申込み方法や受付締切日については協会ホームページをご覧ください。なお、コロナの感染状況によってはツアーの中止もございます。

「よこすかシティガイド協会ホームページ <http://yokosuka.kankoh-guide.com/>」

依頼ガイドツアー募集

二人以上のグループのご希望コースをご案内する「依頼ガイド」も受付けています。下記はモデルコースです。協会ホームページから依頼ガイド申込み用紙をダウンロードしてFAX（046-827-1682）で協会宛てお申込み下さい。その他お薦めコースも同ホームページに紹介しています。

地区名	ツアー名	コース
中央地区	ヴェルニー公園と猿島巡り	ヴェルニー公園～ドブ板通り～三笠公園～記念艦三笠～猿島～三笠棧橋
浦賀地区	浦賀の文化遺産と歴史を訪ねる	東叶神社～浦賀の渡し～奉行所跡～愛宕山～西叶神社
観音崎地区	海と花・歴史と文化遺産	走水水源地～走水神社～横須賀美術館～観音崎公園～観音崎灯台
衣笠地区	衣笠・中世山城の歴史道を歩く	衣笠山公園～衣笠城址～大善寺～満昌寺～清雲寺～満願寺
追浜地区	夏島貝塚・貝山緑地を訪ねる	明治憲法起草記念碑～夏島貝塚～貝山緑地～予科練誕生之地記念碑
西海岸地区	横須賀西海岸の自然と歴史を訪ねる	湘南国際村～子安の里～立石公園～若命家長屋門～浄楽寺

トピックス

地区部会紹介（衣笠）

当部会は、横須賀市のほぼ真ん中に位置する衣笠とその周辺（金谷、池上、岩戸、佐原、佐野、公郷、平作、阿部倉）の歴史や自然を案内しています。衣笠は平安から鎌倉時代にかけて三浦半島を中心に活躍し、特に源頼朝の鎌倉政権樹立に大きな役割を果たした「三浦一族」の本拠地でもありません。そのため、横須賀には鎌倉時代の仏像が多く残され、その数は鎌倉をはるかに超え、特に国の重要文化財に指定される仏像などのほとんどがこの衣笠にあります。当時、いかに三浦一族の勢力が強かったか、が偲べれます。

来年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」の中で三浦氏第六代の三浦義村を山本耕史さんが演じます。どのようなドラマになるのか今から楽しみですが、三浦一族をあまり知らない方々にも知っていただく絶好の機会と考えています。これが横須賀の観光に繋がればと期待するところは大変大きく

私たちの活動も活気あるものにしたいたいとおもっています。その他に当部会では「鎌倉みちシリーズ」として久里浜から鎌倉までのいわゆる「古東海道」を四回に分けて歩くコースもご案内しています。十二名のメンバーがそれぞれの持ち味を生かし、この地域の魅力を分かりやすく紹介しています。

（浅場 靖弘）

会員紹介（二〇二〇年入会）

曾爾 純孝（衣笠部会）

生まれは島根県松江市です。国宝のお城を遊び場として育ちました。大学を卒業して当時の浦賀ドックに入社、浦賀工場に配属になりました。その後あちこち転勤で移動しましたが、最後はここ横須賀に落ち着きました。小学生のころから三人の姉の転居先を一人で夜行列車に乗って訪ね歩くうちに旅行好きになり、定年後はどうしても旅行関連の仕事がしたくて旅行会社に就職、添乗員として日本全国を旅しました。が残念ながら横須賀のツアーには参加することはありませんでした。旅行会社を辞めた後、仕事をセーブ

して平日に余裕が出来たので、かねてより興味があった横須賀シティガイドに応募しましたが、その研修で横須賀製鉄所の中身を知りビックリしました。あまりにも横須賀について知らないことが多すぎる！これが第一印象でした。そして三浦一族の歴史を調べるうちにますます興味が湧いてきました。

これからたくさん横須賀の歴史や魅力を学んで、横須賀ファンを一人でも多く増やしたいと思いますので宜しくお願い致します。



（曾爾）

斉藤正夫（衣笠部会）

私は横須賀生まれの横須賀育ちです。市内の田戸台に生まれ、仕事は米が浜の横須賀共済病院の臨床検査科に臨床検査技師として定年まで三十八年間勤務しました。その後海外勤務にチャレンジし、スペイン語の国南米のパラグアイ、そして常夏のヤシの島激戦地ソロモンで臨床検査技術の指導を病院に勤務し行いました。異文化に溶け込み

生活し、有意義な十年間の年月を送り、異文化を吸収しながら日本の優れた文化を再確認できました。

今後は横須賀シティガイドで日本文化の良さを伝えたいと想いこの仕事に加えさせて頂きました。



（斉藤）

中村 誠（浦賀・久里浜部会）

横須賀生まれ横須賀育ちの二十二歳です。地元の同級生と話をしていると、横須賀に対する愛情の無さに悔しさを覚えました。それが契機となり、さらに多くの方へ横須賀市の魅力を伝えたいと思い応募しました。実際に大先輩方と浦賀や久里浜を歩くと今まで知らなかった事が非常に多く、勉強になっています。横須賀の魅力を伝え継ぐためにも、さらに知識を身に付け、貢献できればと思います。



（中村）

【賛助会員募集】

よこすかシティガイド協会の活動に理解をお持ちで、当協会を後援していただける個人及び団体の賛助会員を募集しています。
年会費 個人1口3,000円・団体1口5,000円 詳細は電話 090-5507-6519（理事長 鈴木孝雄）まで